

市立函館病院に通院・入院中または過去に通院・入院された  
患者さままたはご家族の方へ

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせください。

2026年1月13日

研究課題名	Short-term Outcomes of Open and Endovascular Reconstruction of Symptomatic Aortic Bifurcation Disease; A single-center retrospective study
研究機関名 長の氏名	市立函館病院・病院長 森下 清文
研究責任者名 所属	三浦 修平・心臓血管外科
[多機関共同研究] 研究代表者	なし
[多機関共同研究] 共同研究機関名 研究責任者名	なし
研究の目的	大動脈腸骨動脈病変 TASC D に分類される大動脈腸骨動脈閉塞症 (aortoiliac occlusive disease : AIOD) は、広範かつ高度な病変を呈することが多く、従来は大動脈大腿動脈バイパス術 (aortobifemoral bypass : AFB) などの外科的手術が標準治療とされてきた。しかし近年、高齢化の進行や心肺疾患などの併存疾患を有する高リスク患者の増加に伴い、より低侵襲な血管内治療への移行が進んでいる。 本研究は、当院において AIOD に対して施行された各治療法の短期成績および中遠隔成績を解析し、治療選択の妥当性を検証することを目的とする。
研究の方法	〈対象となる患者さま〉 2008年12月から2024年7月までの期間に、当院において AIOD に対する治療が行われた方  〈利用する情報〉 電子カルテ内診療記録 (大動脈大腿動脈バイパス術 (aortobifemoral bypass : AFB)、kissing balloon technique (KBT)、または Covered Endovascular Reconstruction of the Aortic Bifurcation (CERAB) 法) 各治療群間の治療成績を比較検討
研究実施期間	実施許可日 (情報の利用開始日 : 2026年1月頃) ~ 2026年3月
他の研究機関への 試料・情報の提供	他の機関への試料・情報の提供はない
外国への 試料・情報の提供	なし

個人情報の取扱い	<p>この研究に関する資料やご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さまの個人情報や研究に支障となる事項以外はお知らせすることができません。</p> <p>研究に利用する患者さまの情報に関して、お名前、住所など、患者さま個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用いたしません。</p>
連絡先・相談窓口	<p>北海道函館市港町1丁目10番1号 市立函館病院 心臓血管外科 三浦 修平 電話：0138-43-2000（代表）</p>